

1 財政の動向及び本市における行財政運営について

我が国経済は、雇用・所得環境の改善や各種政策の効果が緩やかな回復を支えることが期待されておりますが、中東情勢の影響を注視するとともに、金融資本市場の変動の影響や米国の通商政策をめぐる動向等に注意していく必要があります。

令和7年度の本市における行財政運営は、第7次総合計画の将来像である「住みつづけたいまち 子育てしたいまち さかど」の実現を目指し、基本理念である「参加と協働によるまちづくり」、「暮らしをまもり、お互いの個性を認め合うまちづくり」、「自然環境と生活環境をまもり、長所を生かすまちづくり」を3本の柱に据え、重点施策の推進に努めてまいりました。

また、今後、扶助費の増加や、公共施設の老朽化に伴う維持や更新に係る投資的経費の増加が見込まれることなど、本市の抱える財政課題を念頭に置き、経費全般の事務事業の見直しを進め、健全な財政運営に努めてまいりました。

2 予算に対する収入及び支出の状況について

令和8年3月31日現在における一般会計及び各特別会計の状況は、別紙のとおりです。